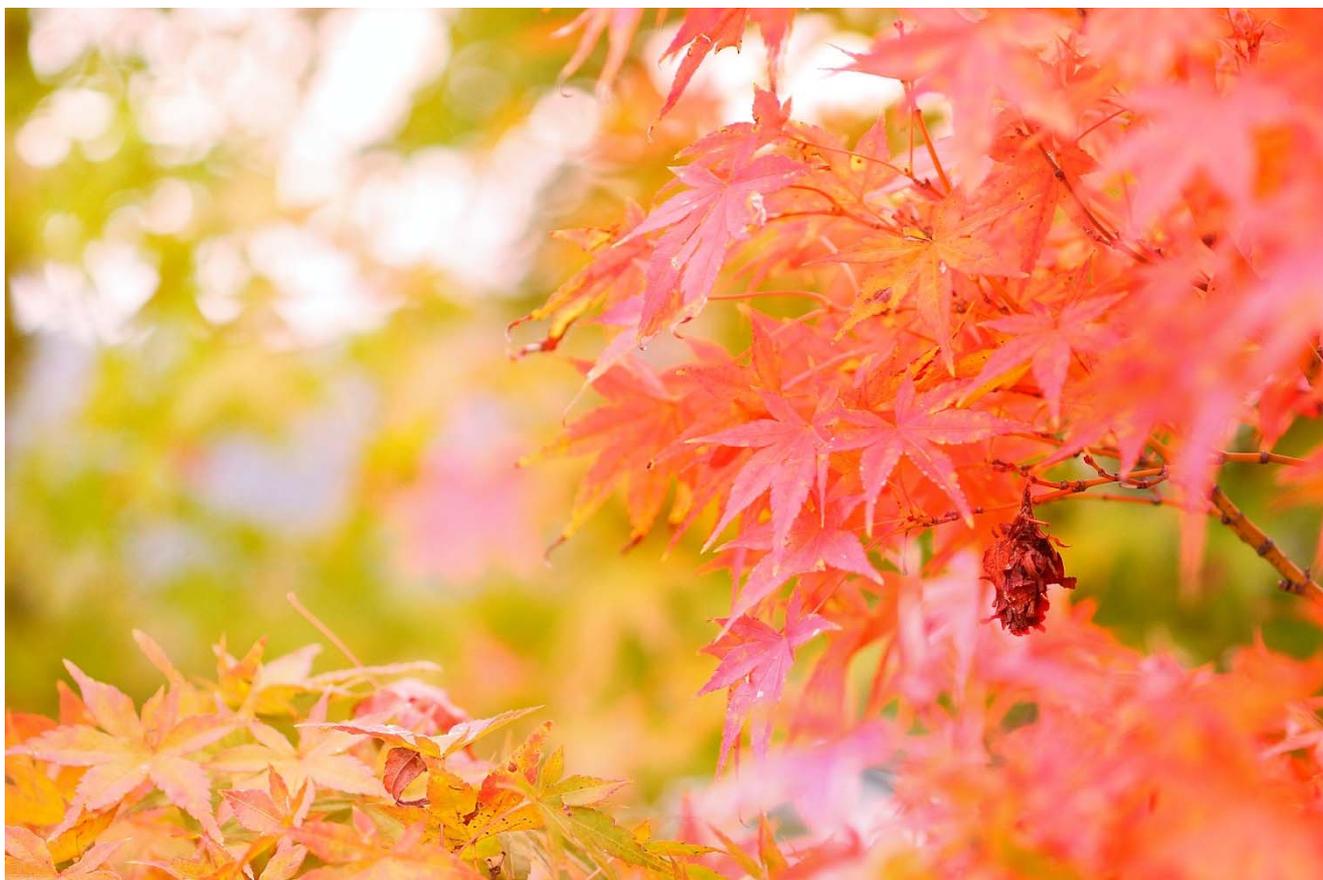


香川の
土地改良



みどり
ネット香川

発行所
香川県土地改良事業団体連合会
高松市番町五丁目 1 番 29 号
TEL (087) 832-7140
FAX (087) 832-7150
<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



紅葉を纏ったミノムシ（善通寺市）

目 次

1. 農業農村整備の集い開催 2
2. 平成 30 年度農業農村整備予算の確保・拡大について 県選出国會議員に要望 ... 3
3. 中国四国ブロック土地改良施設の整備補修事例検討会開催 4
4. 中国四国土地改良事業団体連合会技術部会開催 4
5. 満濃池土地改良区新事務所竣工式 5
6. 「満濃池物語り」第十一回 6
7. 土地改良区だより 綾歌郡仁池土地改良区 7
8. 会と催し 8

農業農村整備の集い開催



11 月 15 日、「農業農村整備の集い」が東京都千代田区のシェーンバッハ・サボーにおいて、“農を守り、地方を創る予算の確保に向けて”をテーマに開催された。

集いには、全国から農業農村整備事業関係者約 1,300 名が参加し、本県からは、本会の組橋副会長をはじめ、各地区の土地改良協議会長ら 11 名が参加した。

集いの開会に当たり、全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長は、『闘う土地改良』を掲げ、組織一丸となって闘った結果、久方ぶりに土地改良代表の進藤かねひこ参議院議員が誕生した

ほか、本年度予算についても補正予算を含め、大幅削減前の水準を確保することが出来た。これも一重に皆様方の御支援・御尽力の賜物であり、厚く御礼申し上げる。」と述べられ、続けて、「いま土地改良は、この 9 月に施行された改正土地改良法を基軸に、新たな展開を図る大きな節目の時である。その具体化のための平成 30 年度予算編成時期を迎え、また、更に平成 29 年度補正予算の話しも出てきたなか、これを実りあるものとするため、やはり一つ一つ『闘っていく』ことである。」と挨拶された。



二階俊博全土連会長による開会挨拶



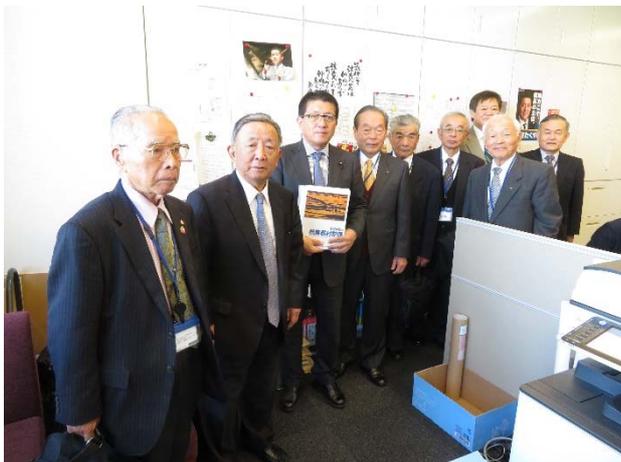
進藤金日子顧問による祝辞

次に、来賓として出席された齋藤健農林水産大臣、竹下亘衆議院議員（自民党総務会長）、塩谷立衆議院議員（農林・食料戦略調査会長）、森山裕衆議院議員（日・EU 経済連携協定対策本部長）、井上義久衆議院議員（公明党幹事長）、進藤金日子参議院議員（都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問）より祝辞が述べられた後、水土里ネット南紀用水土地改良区並びに和歌山県みなべ町から事例発表があった。

終わりに「平成 30 年度当初予算の確保」など 5 項目の要請書が全会一致で採択され、ガンバロウ三唱で盛会裏に集いは終了した。

平成 30 年度農業農村整備予算の確保・拡大について 県選出国會議員に要望

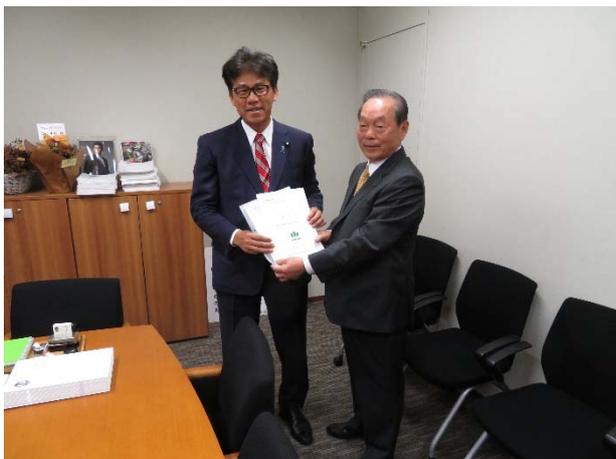
11 月 16 日、県選出国會議員に平成 30 年度農業農村整備事業関係予算の概算決定に向け、本県が直面する課題に対応するため、農業農村整備予算の拡大及び当初予算の確保、農村地域防災減災事業予算の確保、「多面的機能支払制度」に取り組むため必要な予算の確保などについて要望した。



平井卓也衆議院議員に要望書を提出



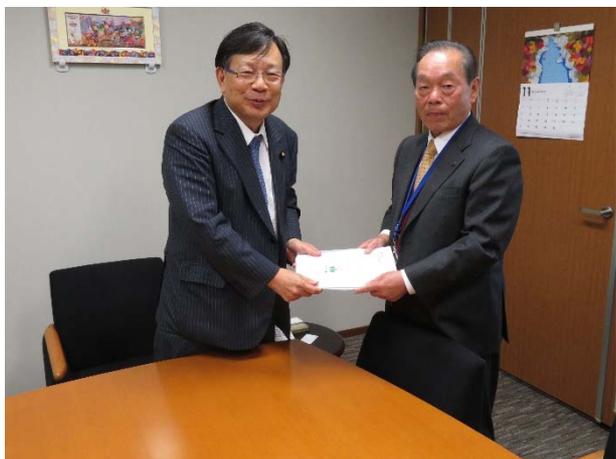
進藤金日子参議院議員秘書との意見交換



三宅伸吾参議院議員に要望書を提出



三宅伸吾参議院議員との意見交換



木村義雄参議院議員に要望書を提出



木村義雄参議院議員との意見交換

中国四国ブロック土地改良施設の整備補修事例検討会開催

11 月 8 日、香川用水記念会館 1 階多目的室において、全国水土里ネット主催により本会が当番県となる標記検討会が開催された。この検討会は、土地改良施設の円滑かつ適正な管理を図るため、施設管理者の参考となる整備補修優良事例の検討を行うものであり、農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課 須佐係長、中国四国農政局農村振興部土地改良管理課 中村補佐、同土地改良技術事務所 加藤課長、香川県農政水産部土地改良課 小山課長をはじめ、中国四国ブロックの各県と各水土里ネットの土地改良施設維持管理適正化事業担当職員が出席した。

事例は、鳥取県・島根県・岡山県・高知県の各水土里ネットから発表され、質疑応答の後、発表県の水土里ネットを除いた出席者が選考委員となり、選考の結果中国四国ブロックの優良事例として島根県と岡山県の事例が優良事例として選定された。

選定された両事例は、今後全国水土里ネットが事例集として纏め、関係機関へ配布されることとなる。



検討会の模様

発表事例	
鳥取県	水路整備において魚類の生息空間を確保し環境にも配慮した事例
島根県	2 台運転の揚水機場において、電動機を入れ替えて緊急対応した事例
岡山県	樋門開閉装置簡易電動化により、開閉労力及び操作時の転落防止を図った事例
高知県	手掻き式スクリーンから除塵設備新設により作業軽減を図った事例

中国四国土地改良事業団体連合会技術部会開催

11 月 28 日・29 日の 2 日間、香川用水記念会館 1 階多目的室において、中国四国土地改良事業団体連合会技術部会が開催された。28 日の同部会では、各県水土里ネットの担当職員及び当番県の本会職員を合せ、総勢 16 名が参加した。この部会では、農地中間管理機構関連農地整備事業、農業農村整備事業（老朽化した農業水利施設の長寿命化、安心安全のための農村地域の防災・減災等）、土地改良区体制強化事業など各県水土里ネットでの取り組みや課題、その対応策等について活発に意見交換が行われた。また、翌 29 日には、中国四国農政局香川用水二期農業水利事業所の斉藤所長並びに二宮次長より、「水路補修工法について」と題し国営香川用水二期農業水利事業に関連した講演を頂いた。

両日の部会の成果を、今後本会が携わる農業農村整備の推進に当たり有効に活用していく。



(28 日) 技術部会の模様



(29 日) 斉藤所長による講演

満濃池土地改良区新事務所竣工式

11 月 25 日、満濃池土地改良区新事務所の竣工式が関係者約 50 名出席のもと盛大に執り行われた。

竣工式は、満濃池土地改良区の國重進理事長と、国分伸二香川県農政水産部長、徳田善紀丸亀市副市長、平岡政典善通寺市長、小野正人琴平町長、栗田隆義まんのう町長、丸尾幸雄多度津町長の来賓による新事務所完成を祝うテープカットで開会し、國重理事長の主催者式辞に始まり式典が進められた。

主催者挨拶では、國重理事長より新事務所の概要、移転に係る経緯等のほか、役職員一丸となって職務を遂行していく強い決意が述べられた。引続き、浅野事務局長より施設概要説明が行われた後、国分香川県農政水産部長、徳田丸亀市副市長、栗田まんのう町長より来賓祝辞が述べられた。

旧事務所は、金毘羅さんの御膝元で多くの温泉旅館が立ち並ぶ県下有数の観光地の一角にあったが、施設の老朽化と耐震性の問題等から、この度の新事務所新築・移転が成されることとなった。新事務所は、交通アクセスと周辺環境に恵まれた琴平町榎井の国道 319 号線沿いであり、本年 1 月より建築工事が進められてきたものである。

竣工した新事務所は、鉄骨造 2 階建て、延べ床面積 470.81 m²、広い駐車場も完備されており、同事務所での大人数を参集した研修会開催等にも対応可能という。

昨年 11 月には、満濃池が「世界かんがい施設遺産」に認定・登録されたが、更に 1 年後の今年、新事務所の竣工を迎え、慶事に富む満濃池土地改良区並びに関係者の益々の発展を祈念するものである。



新事務所全景



広い駐車場が完備



テープカット



主催者式辞を述べられる國重理事長

満濃池物語り

まんのういけものがたり

第十一回 しぶしぶの知事決裁

「四国作家」同人 平井 忠志

満濃池嵩上げ計画挫折

昭和二年、県は満濃池の嵩上げを計画していました。その場合、満濃池の流域が狭いので、隣の三豊郡を流れる財田川の水を取り入れる予定でした。

これを知って怒ったのは、財田川流域沿岸の町村です。県は地元の反対に余ほど神経をとがらせた見え、県警察部にその動向を探らせています。これを受けて観音寺警察署長が、地元の不穏な動きを報告書にまとめており、問題がいかにエキサイトしたかが窺がえます。

そこで県は関係町村長を説得するため、四月六日に現地視察会を開催することとし、観音寺町長ほか九か村長に案内状を送付しました。

おそらく視察の後、琴平あたりの料亭で花見を兼ねて一席設け、一挙に分水問題を解決しようとしたのではないのでしょうか。その席には、知事の出席も予定されていたのかもしれませんが。

ところが、これに反発した町村長が申し合わせて、説明会の前々日になって県内務部長あて「公務の都合上、出席できません」と通知してきました。

そこで県は仕方なく、内務部長名で視察延期の電報を打ちました。

「マンノウイケ ギッチシサツノケン エンキス」

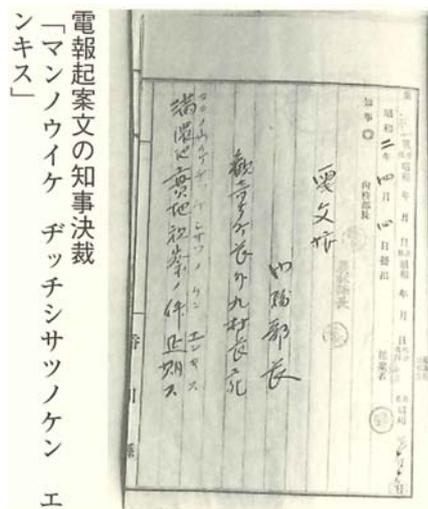
この電文の起案文書が残っています。起案書には、農林課長と内務部長の決裁印が押されていますが、知事のハンコはありません。知事の決裁欄には筆の軸尻に印肉を付けて、にじり付けたように赤丸が押してあるだけです。

昔は気に入らない案件を決裁するとき、わざとハンコを逆さまに押す上司もありました。ましてや当時の知事は、政府から任命された誇り高き官選知事です。

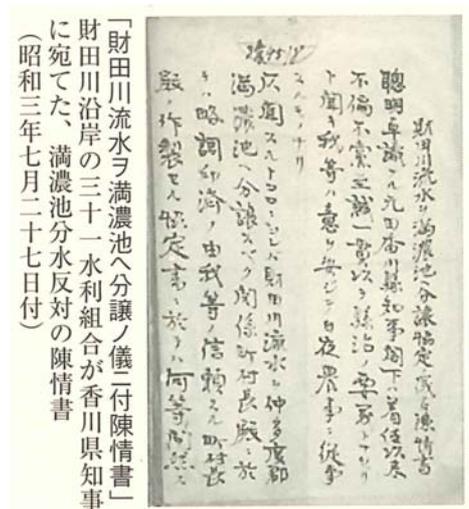
県営事業の成否をかけた県の視察会を、町村長にボイコットされた知事の無念さは、推して知るべしでしょう。

「お前たち、一体何をやってたんだ」

あらかじめ、町村長に根回しも出来なかった部下の不手際に、知事は苦り切って、筆の尻でしぶしぶの決裁をしたのではないのでしょうか。



電報起案文の知事決裁



財田川分水反対陳情書

～土地改良区だより～

綾歌郡仁池土地改良区

綾歌郡仁池土地改良区が、その名を冠する仁池は丸亀市飯山町の東南方、丸亀市飯山町上法軍寺に位置し、堤長 328m・堤高 16m・満水面積 28ha・貯水量 150.2 万 m³ を誇り、かんがい面積は 322ha に及ぶ。堤防のほぼ中央の地山部分には三基の碑が並び、堤防西端に飛渡神社ひわたしがあり、更に余水吐水路を挟んで善光寺がある。

仁池について、「讃州府志」等の文献では慶安元年(1648 年)に矢延平六により築造されたとし、飛渡神社碑にも同様の旨が記されている。当時の讃岐の国は、上国の土地柄で田畑広大であったが、用水不自由で民百姓の苦労も多かったようである。このため当時の藩主(生駒氏)の家臣である西嶋八兵衛が、心胆を砕き大池 48 カ所を築いたものの、なお十分ではなかった。その後、矢延平六が緻密な計画によって私欲を離れ、忠仁を第一として大工事を完成させ続けていった。東は大内郡から西は那珂郡象頭山に至るまで大普請百有余ヶ所、およそ 40 年をかけた功績である。しかし、これに妬みを覚えた者の讒言ざんげんが上聞に達し、上役から「この度其の方の労により仁池を建築したというが、一体如何ほどの用水があるのか」と問われた。平六が「五月中旬から百日ばかりの用水がある」と答えると、「稲は植付けから七十五日もすれば穂も十分に熟し刈取り出来る。それを必要以上に溜め、藩はもとより下百姓に至るまで無用の費用を使わせ、まことに不都合千万」とし、お咎めを被り牢人を仰せつけられた。その後、平六は阿波国に逗留したが、平六の功績が阿波の国の家老蜂須賀氏も知るに及び、阿波藩主の上聞にも達した。そこで阿波藩主は、高松藩主に御執り成しがあり、間もなくお喚び返しとなり御役仰せ付けられ扶持ちかも加増となった。平六は、仁池の他にも飯山町内の楠見池の改修と大窪池の築造を成し遂げている。晩年の事業としては、土器川右岸滝鼻出水とその掛井手を造っている。なお、掛井手近くの岩肌には「天和二壬戌みずのえいぬ 曆五月上旬、此井手成就、矢延可次(平六)」と刻まれている。なお、飛渡神社は矢延平六を祀っており、現在は平六ゆかりの仁池のほとりに遷されているが、昭和 60 年 7 月 1 日、平六没後 300 年に当たり、飛渡神社碑の背面に「三百年遷宮録」が刻まれた。

現在に至るまで幾多の渇水に見舞われ、危機的状況に陥ったことも数多くあったが、現在では昭和 50 年に香川用水の本格通水が始まり、更に平成 7 年には仁池分水から専用導水管工事が完成し、香川用水の分水全量が仁池に流入するようになり、一層の用水有効活用が可能となっている。

我が土地改良区としても先人に倣い、先人が遺した財産を適切に管理・運用し、次代に確実に引き継いでいくため、一層努力していく所存である。



仁池 (池干し中)

土地改良区の概要

所在地 丸亀市綾歌町栗熊東 408-1

団体表彰

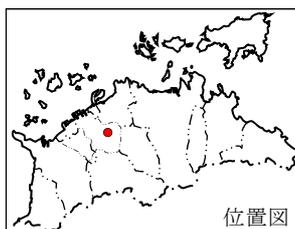
平成 19 年 3 月 全国土地改良事業団体連合会 銅章

平成 27 年 3 月 全国土地改良事業団体連合会 銀章

受益面積：322ha (田 322ha)

組合員：1,080 名 総代：48 名

理事：10 名 監事：3 名



位置図



横井清隆理事長

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
11 月 6 日	さぬき市土地改良区統合整備推進協議会（第 5 回）	さぬき市
11 月 8 日 ～9 日	平成 29 年度中国四国ブロック土地改良施設整備補修事例検討会	高 松 市
11 月 9 日 ～10 日	平成 29 年度換地関係異議紛争処理実務研修会	沖 縄 県
11 月 14 日	平成 29 年度第 1 回香川県農業農村整備事業環境情報協議会	高 松 市
11 月 15 日	農業農村整備の集い - 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて -	東 京 都
11 月 16 日	農業農村整備予算の要請活動	〃
11 月 19 日	全国育樹祭	まんのう町
11 月 22 日	平成 29 年度中国四国管内農林水産大臣表彰選考委員会	高 松 市
11 月 25 日	満濃池土地改良区新事務所竣工式	琴 平 町
11 月 28 日	香川県農業会議常設審議委員会	高 松 市
11 月 28 日 ～29 日	平成 29 年度中国四国土地改良事業団体連合会技術部会	高 松 市

